

みどりをさがしにでかけよう

No.

4

2018 / 03

ちが咲き

柳島スポーツ公園開園

こころとからだを育む健康づくりの拠点へ



『人々が安心して集い、“みどり”を感じ、“こころ”と“からだ”を育む、周辺と一体となったスポーツ公園の整備』を基本テーマに、平成30年3月25日、敷地面積約65,000㎡の柳島スポーツ公園が開園しました。基本テーマからも感じられるように、スポーツの場としてだけではなく、自然も楽しんでもらえるような施設となっています。今号では、柳島スポーツ公園のみどりを紹介します。

茅ヶ崎市 都市部景観みどり課・環境部環境政策課・建設部公園緑地課

作成協力：慶應義塾大学 一ノ瀬研究会 - Greeture Project -

柳島スポーツ公園の自然を見てみよう

柳島スポーツ公園にはなにがあるの？

園内配置図



テニスコート

多目的広場

ヤマイ移植場所

小学生
植樹場所

ジョギングコース

遊具もあります



多目的広場

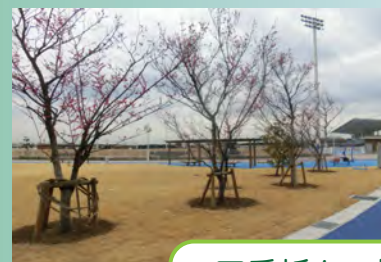


ジョギングコース

敷地面積約65,000㎡のスポーツ公園で、総合競技場、テニスコート、ジョギングコース、多目的広場など、多くの方に楽しんでもらえる施設となっています。

柳島スポーツ公園のみどりには、どんな工夫があるの？

①景観まちづくりアドバイザーと協議をかさね、在来種に配慮した植栽としながらも、来園者が四季折々にみどりを楽しめるよう、花木や実がなる樹種等を植栽しました。季節の移り変わりにあわせて、ぜひ来園してください。



四季折々の植物



②隣接する農地や柳島小学校への影響に配慮し、それらの境界側には、境界側から低木、中木、高木を配置するなど日照や眺望確保に配慮しました。植栽による音・風対策がおこなわれ、みどりの持つ機能が発揮されています。

～茅ヶ崎市の貴重な植物を守る取り組み～

市内で約30年ぶりに発見された「ヤマイ」を育てます！

「ヤマイ」とは？

カヤツリグサ科の植物で、花径の先端に小さな穂をつけます。やや湿った草地に生息し、県内では局所的に分布している植物です。花期は6月～9月頃です。市内では昭和60年代を最後に絶滅したと思われていましたが、浜見平団地内で30年ぶりに確認されました。浜見平団地の建て替えにともない、柳島スポーツ公園に移植して生育を見守っています。



ヤマイ移植中



ヤマイ移植場所

市内では昭和60年代を最後に絶滅したと思われていましたが、平成27年8月に市内浜見平団地で約30年ぶりに確認されました。そこで、浜見平団地の再整備に伴い、柳島スポーツ公園に移植して、保全することになりました。

柳島小学校3年生の皆さんが植樹を行いました



平成29年10月17日、現場体験会の一環として、植樹のお手伝いをしてもらいました。一緒に育っていこう、と成長を感じられる木々の中から、1組はイロハモミジ、2組はオオシマザクラ、3組はシダレヤナギ、と自分たちで樹種を選びました。

元気に育つよう願いが込められています。

海岸固有の動植物にとって重要な地域：柳島

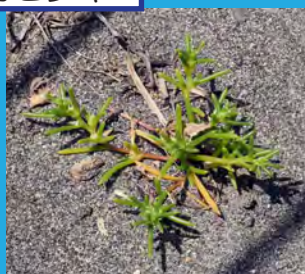
柳島の位置



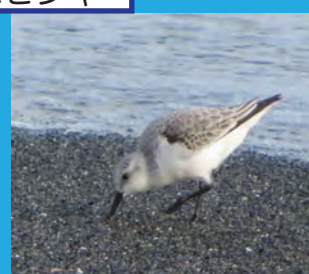
柳島は、市の南西端、湘南海岸に沿ったエリアで、茅ヶ崎市が行っている自然環境評価調査においても、特に重要度の高い自然環境の一つとされています。主にクロマツ林が広がり、海岸のサイクリングロード沿いなどでコウボウシバやハマヒルガオ、ハマエンドウといった砂浜特有の植物が確認されています。

地区内に位置する柳島キャンプ場では、自然環境保全エリアを設け、キャンプ場利用者の立ち入りを禁止して、貴重な植物の生育地を保全しています。

オカヒジキ



ミュビシギ



講座お知らせ

「自然環境評価調査発表会 茅ヶ崎の自然をしてみよう 2017」

茅ヶ崎市で行っている自然環境の取組みの一つに「自然環境評価調査」があります。このたび第3回調査（平成27年度～29年度）のまとめとして「茅ヶ崎の自然をしてみよう2017」を発行しました。

調査に参加していただいた6分類（植物、昆虫類、鳥類、哺乳類、両生・はちゅう類、魚類）毎のチームリーダーを中心に、第3回調査の結果や調査に参加して感じたことなどを発表していただきます。詳しくは広報ちがさき4月1日号をご覧ください。



日時：4月15日（日）9時から12時まで
場所：市役所分庁舎6階コミュニティホール
参加無料、申し込み不要